

アクセスコントロール付
タブレット型サーマルカメラ

サーマルタブ

THERMALTAB® TMT-03S

クイックガイド

～はじめに～

危険を避けるために、本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。また、本取扱説明書は大切に保管してください。本取扱説明書の全部または一部を、書面による許可なく、いかなる団体または個人も複製、改変することはできません。別段の合意がある場合を除き、複製、改変された取扱説明書について、当社はいかなる保証も行いません。



内容

1. 製品の概要	3
1.1 はじめに.....	3
1.2 製品の機能	3
1.3 同梱品	3
1.4 ご使用上の注意.....	3
2. 寸法図	4
2.1 製品本体寸法図 (mm).....	4
2.2 専用スタンドS寸法図 (mm).....	4
2.3 専用スタンドL寸法図(mm)	5
3. コネクター部の各名称	6
4. 設置	7
4.1 注意.....	7
4.2 簡易設置	7
4.3 取付手順 (専用スタンドLの場合)	8
4.4 専用スタンドのLEDライトを消灯させる方法.....	11
4.5 アルコール噴霧器(SD02)について	12
4.6 位置と角度の調整.....	15
4.7 入場ゲートへの取り付け.....	15
5. WEB設定(ブラウザでの設定)	16
5.1 ブラウザログイン方法	16
5.2 パスワード変更	17
5.3 時刻設定	18
5.4 ネットワーク設定.....	19
5.5 音声アナウンスのボリューム調整	20
6. 主な機能の設定方法	21
6.1 表面温度測定の範囲を設定する	21
6.2 マスク認識機能を有効にする	22
6.3 顔認識機能を有効にする.....	23
6.4 測定記録を残さない設定にする	24
6.5 手動で温度を補正する.....	25
6.6 温度補正の詳細及び注意点	26
6.7 温度を測定する間隔を変更する	27
7. 顔認証データ	28
7.1 ログの確認	28
7.2 顔認証データ登録 (ログから登録する).....	29
7.3 顔認証データ登録 (画像をインポートして登録する)	30
7.4 顔認証データの確認・編集・削除	31
8. Windowsパソコンソフト『THERMALTAB-sVMS-』について	32
8.1 THERMALTAB-sVMS-について	32
8.2 THERMALTAB-sVMS-のインストール方法	32
9. 仕様	35
10. 不具合発生時等のお問い合わせについて	36

この取扱説明書は、機器の設置や設定などの簡単な機能のご案内を目的としています。詳細については営業窓口にお問い合わせください。

1. 製品の概要

1.1 はじめに

本機器は、ホテル、オフィスビル、学校、ショッピングセンター、店舗、公共施設の入り口に設置してお使いください。

1.2 製品の機能

1. 高精度赤外線温度検出センサーで非接触かつ自動で表面温度を検出。
2. 表面温度の測定範囲は30～45℃。精度は±0.3度。
3. 測定結果と音声アラームのリアルタイム出力。
4. マスク着用の有無を識別し、リアルタイムでアラームを鳴らします。
5. 顔情報を自動で登録し、効率を向上し、漏れを削減。
6. 顔認識距離0.3～3m
7. 0.5秒以内に顔判別、顔データには22,400人分を登録可能。
8. 10万件のログ保存が可能。※データのエクспортには専用のソフトとExcelのインストールが必要です。
9. 映像ダイナミクス ≥ 80 dBで逆光環境でも使用可能。
- 10.霞除去、3Dノイズ除去、逆光補正、ホワイトバランス補正など、多様な映像補正を搭載

1.3 同梱品

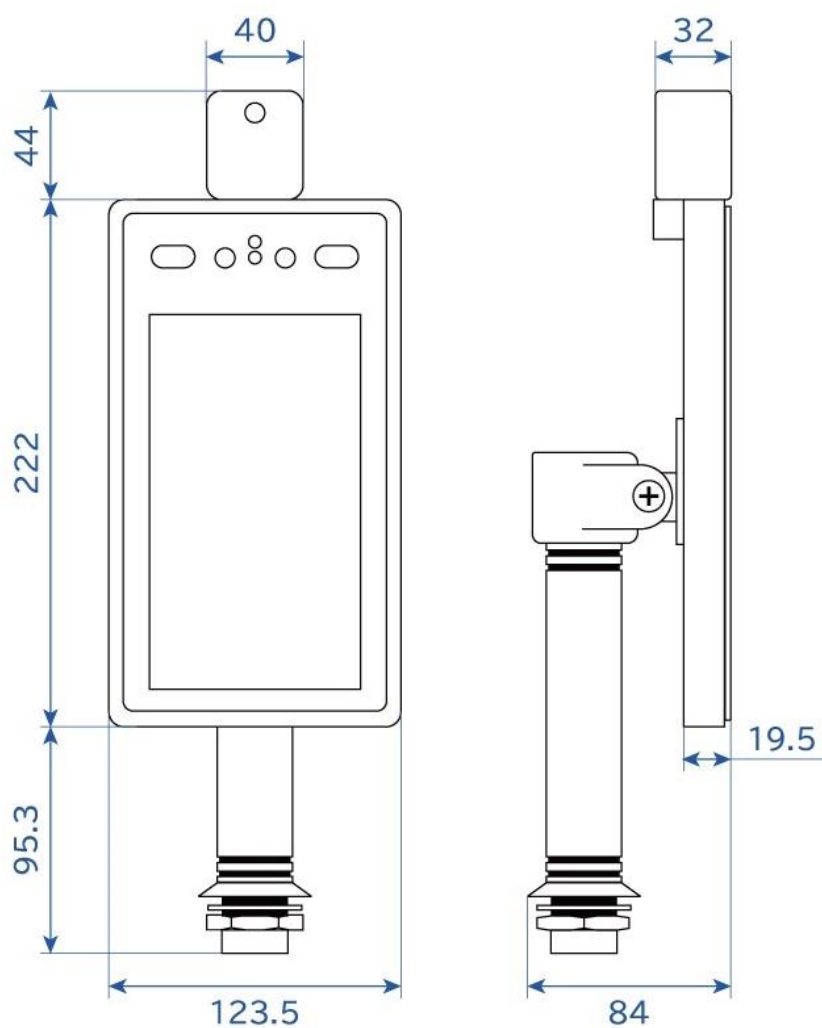
- 本機器
- 電源アダプター
- LANケーブルコネクタカバー
- 専用スタンドS または L (1.15m)
- 電源延長コード (1.5m)
- 六角レンチ(小) [画面角度固定用]
- 六角レンチ(大) [アーム固定用] ※2020年11月以降納品分より
- 測定案内POP (A4・ラミネート加工)
- クイックガイド・取付手順 (本紙)
- 結束バンド × 6

1.4 ご使用上の注意

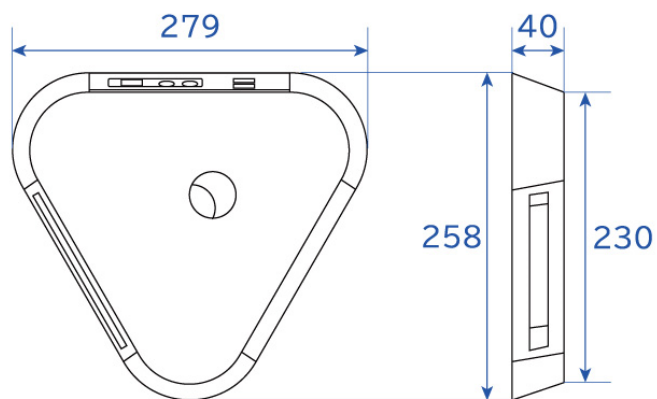
- 本機器は体温そのものを測定する機器ではありません。
- 出荷時の初期設定は、25～30度の温度環境での使用を想定しています。それ以外の環境では、温度補正設定で調整を実施のうえご使用ください。
- 起動後、10分以上経過してから運用開始を推奨しています。
- 傷や破損を避けるため、外部スクリーンに液体をかけないでください。
- 設置の際は丁寧に取り扱い、落下に注意してください。
- 映像信号や音声信号の干渉や劣化を避けるため、アースを使用してください。
- 本製品は室内用です。防水機能はございません。
- 本製品は有線接続でご使用ください。無線接続はご使用いただけません。
- ソフトウェア、外観に関しては、将来予告なく変更されることがあります。

2. 寸法図

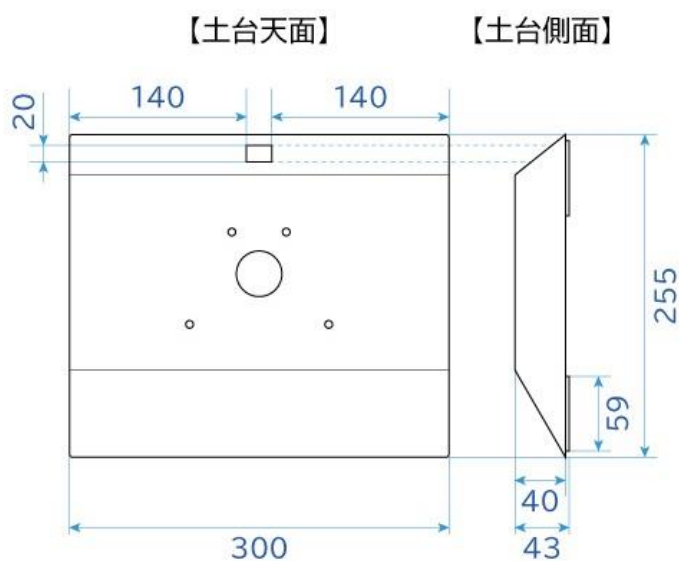
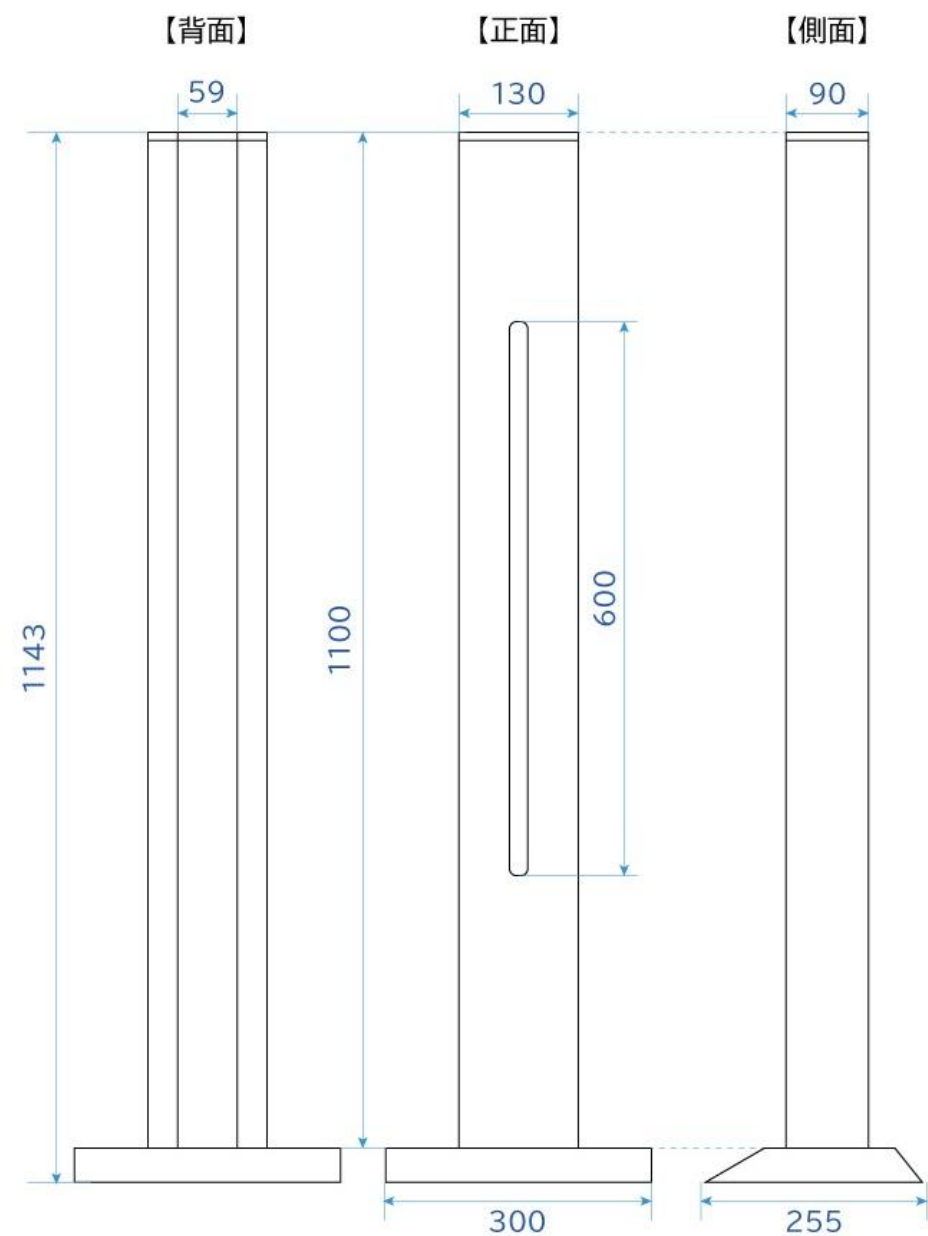
2.1 製品本体寸法図 (mm)



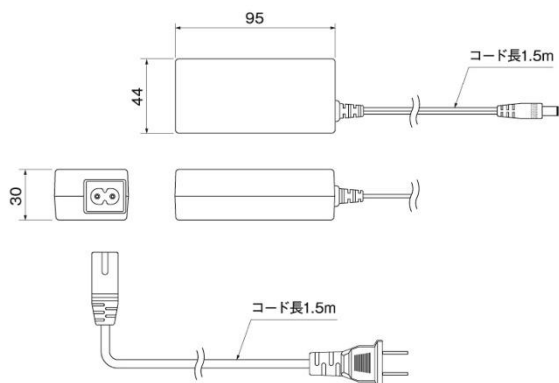
2.2 専用スタンドS寸法図 (mm)



2.3 専用スタンドL寸法図(mm)



【電源アダプター】



3.コネクタ一部の各名称



NO.	名称	説明
1	DC12V	12V / 3A
2	アラーム出力	リレースイッチ
3	Wiegand 入力	NC
4	USB	USB 端子
5	RJ45	100m
6	Wiegand 出力	1:DO、2:DI、3:アース

4. 設置

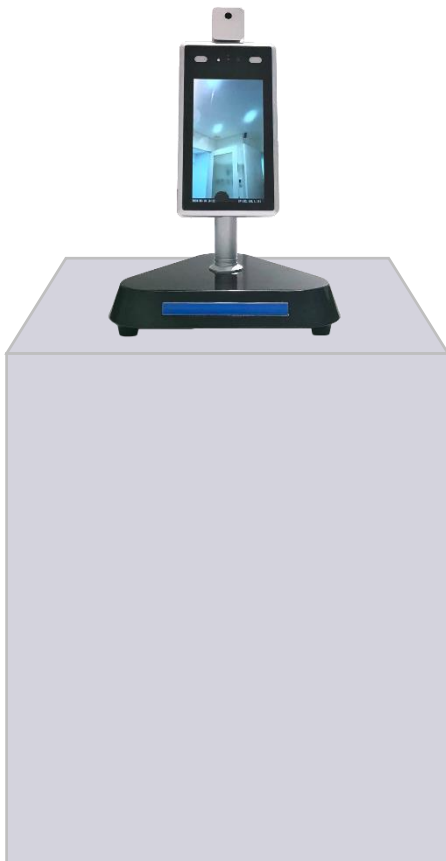
4.1 注意

1. 本機器は体温そのものを測定する機器ではありません。顔を含むヒトの体表面の熱放射(赤外線)を測定し、その結果をAIがアルゴリズム補正して表示します。体表の温度は体温とは一致せず、体温よりも低いのが一般的です。本機器の測定結果はあくまで参考とし、必要に応じて正確な体温を測定できるよう、腋の下や口内などで計る体温計を併用してください。
2. デバイスの推奨動作温度は25~30℃(動作可能温度10~40℃)です。温度差のある空気同士が混ざり合う場所への設置は避けてください。3メートル以内に熱源(冷暖房機器を含む)がないことを確認してください。
3. 寒い屋外環境から部屋に入る人は、測定精度に影響を与えます。室内で額を覆わずに3分間経ってから計測してください。低い温度が連続する場合は、WEB設定から「低温補正」機能や「数値補正温度」機能をご使用ください。
4. 温度測定装置が読み取る温度は、額部分の表面温度です。額に水、汗、油等の汚れや、濃いメイク、深いシワがある場合、読み取り温度は実際の温度より低くなる可能性があります。額を髪や衣服で覆わないでください。

4.2 簡易設置

付属のスタンドを使用することで、下図のように設置できます。

専用スタンド S



専用スタンド L



4.3 取付手順 (専用スタンドLの場合)

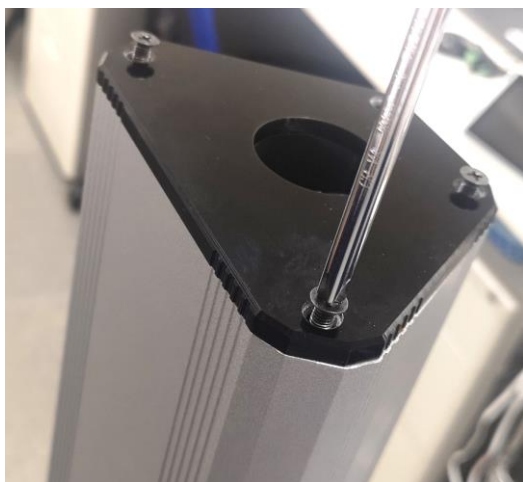
<p>▪ 送付物</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 本体 ② 専用スタンドL ③ 専用スタンド土台+クッションシール 	<p>▪ カメラの同梱物</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ダブルレット型サーマルカメラ本体 ② ACアダプター ③ 電源延長コード ④ 六角レンチ ⑤ LAN ケーブルコネクタカバー 
<p>▪ 専用スタンドの同梱物</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 専用スタンドL(本体) ② 専用スタンド土台 	

▪ 取付手順

1. 土台側にあるネジ4本を外し、スタンド本体を逆さにします。
2. 土台のネジ穴と合わせ、土台の底側からネジを4箇所締め込みます。



3. スタンドを立て、上部のネジ4点を緩め、カバーを外します。※固くはめ込まれていますので、取り外す際は注意してください。



4. カメラ本体からナットを緩めて取り外します。



5. コネクタ部をナットに通し、ナットを抜き取ります。



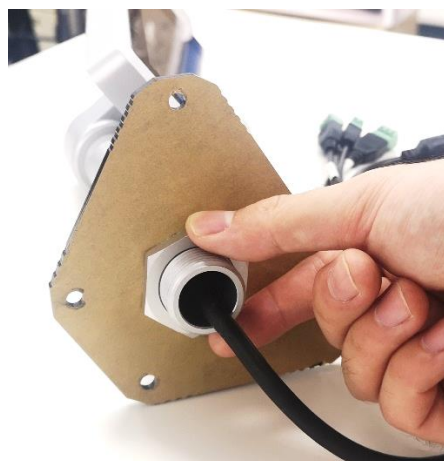
6. スタンドの上部カバー、ナットの順にコネクタ部に通し直します。



7. スタンド内のコネクタ(電源とUSB)とカメラ側のコネクタを接続します。また、必要に応じて設定変更用パソコンに繋ぐためのLANケーブルをカメラ側コネクタに接続します。



8. カメラ本体とスタンドの上部カバーをナットで締め込んで固定します。



9. 配線部をスタンド内へ入れ込みます。



10. スタンドの上部カバーをネジで締め直します。



11. 電源とLANケーブルを差し込みます。



12. 完成です。



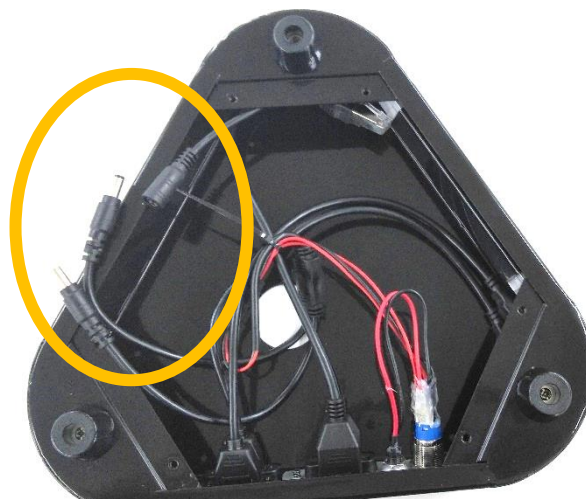
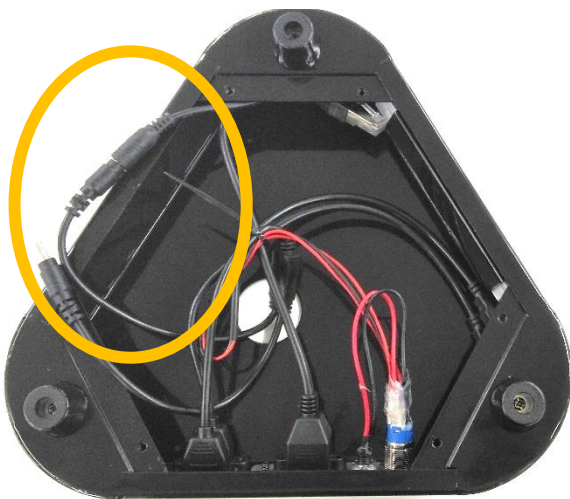
4.4 専用スタンドのLEDライトを消灯させる方法

1. スタンド内部に、以下のように予め接続されている配線を確認します。
2. 1で見つけた配線を外すことでスタンドのLEDライトを消灯できます。

専用スタンドLの場合

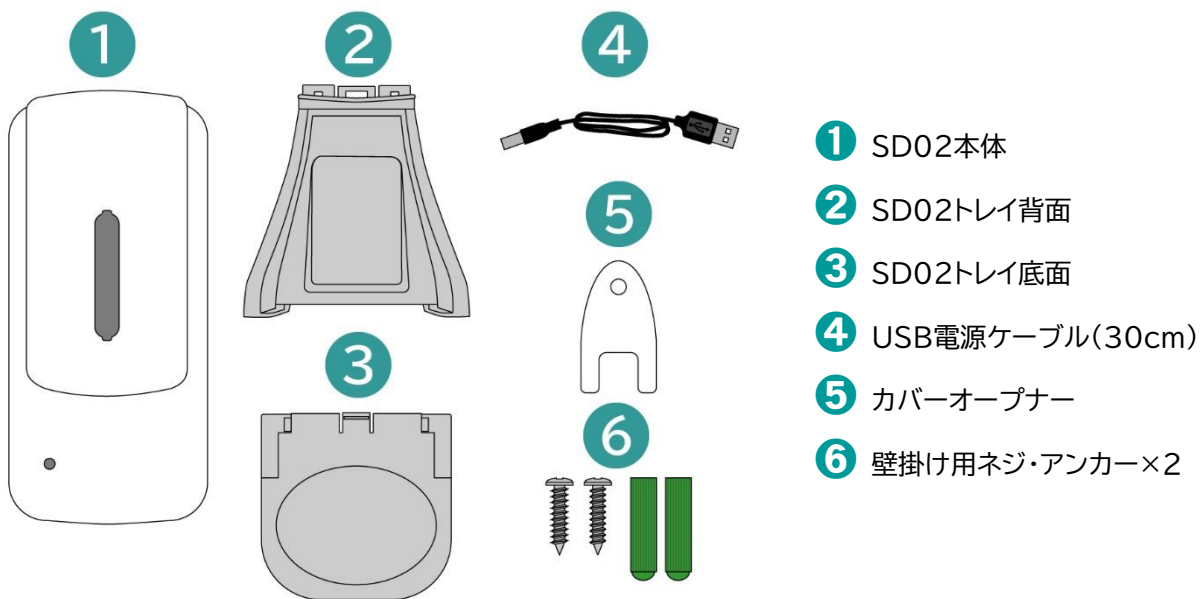


専用スタンドSの場合



4.5 アルコール噴霧器(SD02)について

■ アルコール噴霧器(SD02)の同梱物



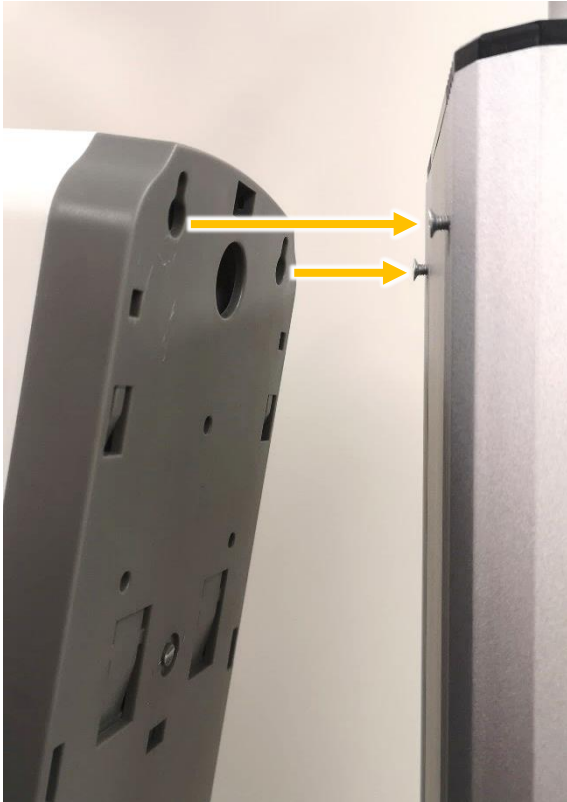
■ トレイをSD02本体に取り付ける

1. トレイ底面の両端のくぼみにトレイ背面をはめ込み、カチッと音が鳴るまで押し込みます。
2. 本体底面のくぼみにトレイ背面の凸部分を押し込みます。



■ アルコール噴霧器(SD02)を噴霧器専用スタンドに取り付ける

1. 噴霧器専用スタンドL正面のネジに、アルコール噴霧器背面上部の2つの穴を合わせて引っ掛けます。
2. 噴霧器側面の電源ジャックに電源ケーブルのプラグを挿し込み、スタンドL背面のUSBに電源ケーブルのUSBプラグを挿し込みます。



※ スタンドには、上部のUSBポートから供給できるものと下部のUSBポートから電源を供給できるものがございます。
 上部USBポートで電源供給ができない場合は、下部USBポートより電源を供給してください。

3. 噴霧器側面の電源スイッチを下げ、電源を入れます。



4. 噴霧器本体正面のLEDランプが緑点灯になれば、使用可能です。

電源が入ると、LEDランプが【緑→赤→消灯】の順で反応します。
 使用可能時は4～5秒に1回、緑色のランプが点滅します。



▪ アルコール噴霧器(SD02)にアルコール液を補充する

1. まず電源を切り、付属品のカバーオープナーを噴霧器上部の2つの穴に挿し込みます。

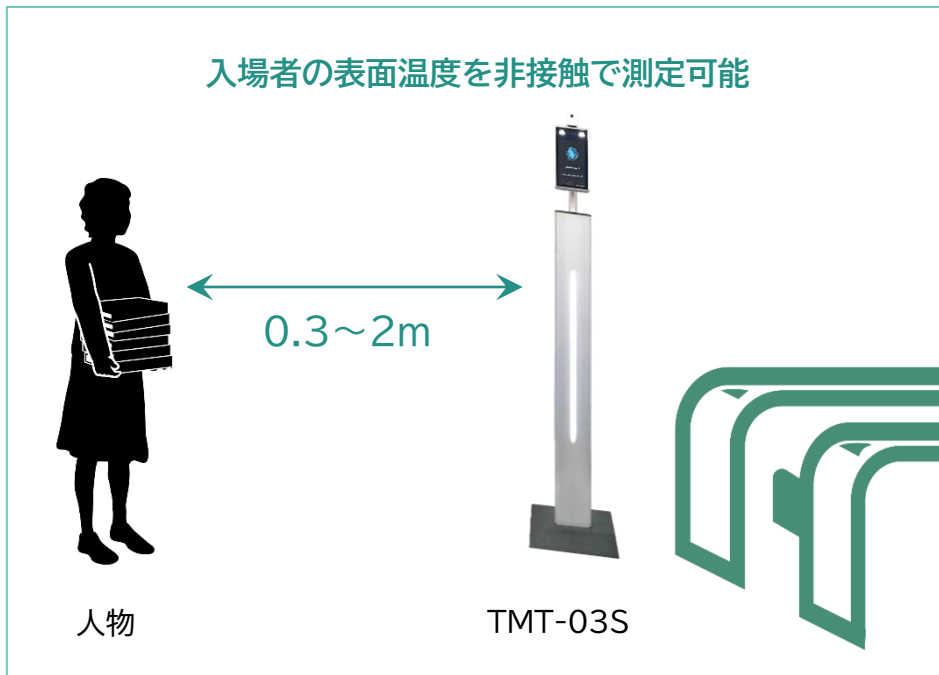


2. カバーオープナーを下に少し押し込むと、カバーが開きます。タンクの黒色のフタを外し、アルコール液を補充します。



4.6 位置と角度の調整

タブレット型サーマルカメラ サーマルタブ TMT-03Sは、非接触で体表面温度の測定が可能です。本体画面に顔をかざすことで、瞬時に表面温度を測定できます。また、顔情報を登録することで、顔認証も同時に行えます。

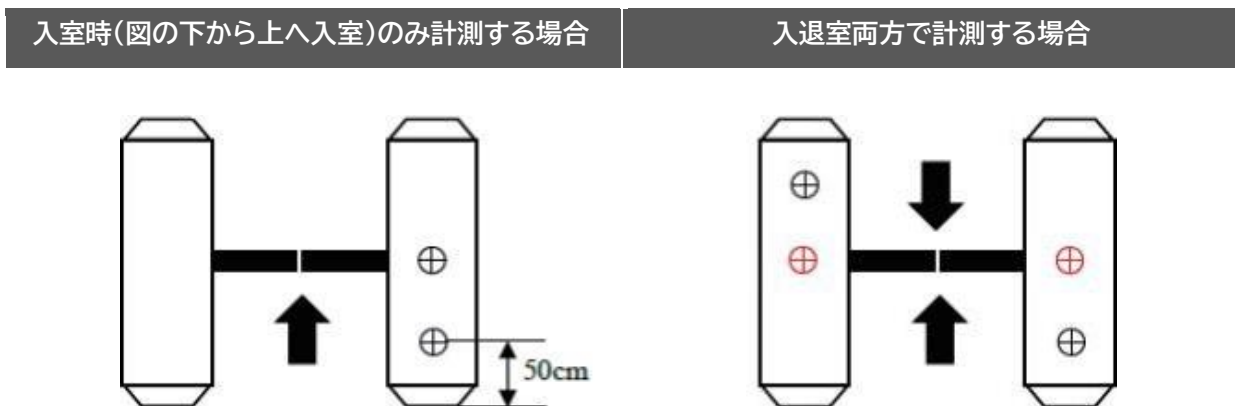


■ 設置方法

1. 本機器起動後、顔を本体画面に向けます。
2. 本体画面に表示される輪郭マークに額を合わせ、正しく測定されることを確認します。(最適距離:0.5m)
3. 位置が確定したら、床にテーピング等を施し、立ち位置を示してください。

4.7 入場ゲートへの取り付け

本機器を設置する際は、取り付け部に直径30mmの穴を開ける必要があります。入退ゲートに取り付ける際は下図の+マークの位置が推奨です。



5. WEB設定(ブラウザでの設定)

本製品のIPアドレス初期値は「192.168.1.88(固定)」です。

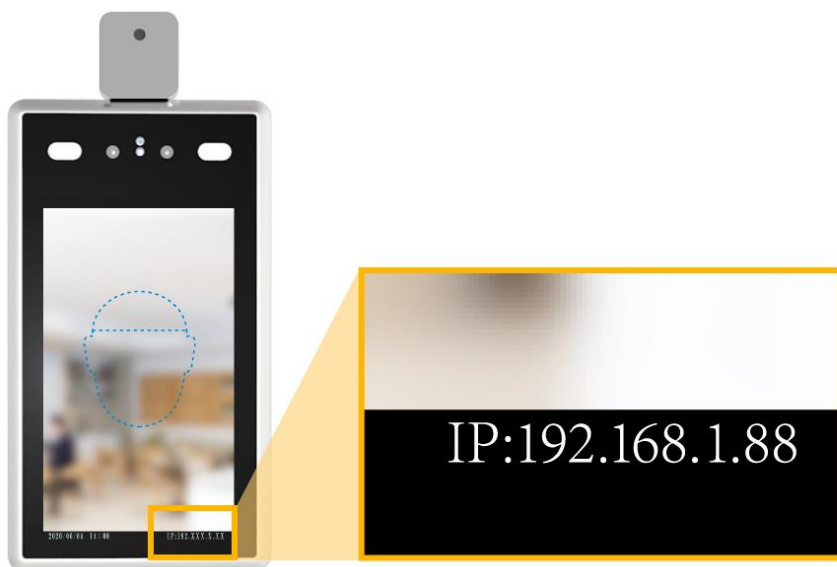
本製品を、WindowsパソコンとLANケーブルで直接接続する場合は、本機器に表示されているIPアドレスのセグメントに合わせて、WindowsパソコンのIPアドレスを固定する必要があります。PCのIPアドレス変更手順は、以下の資料をご覧ください。

【PCのIPアドレス変更手順】

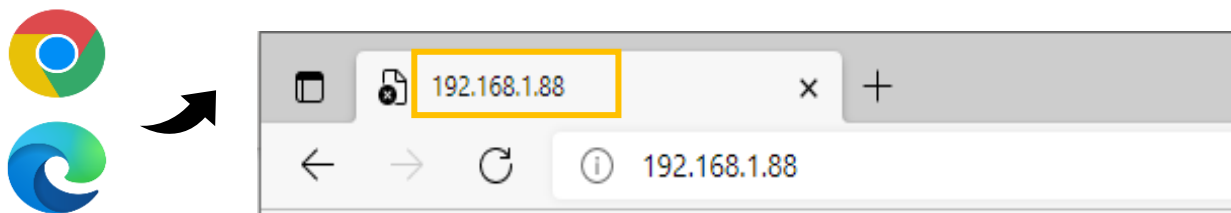
https://www.solidcamera.net/thermaltab/file/tmt-v001_howto_ip.pdf

5.1 ブラウザログイン方法

本機器は電源とLANケーブルに接続後、約2分で起動します。本製品のIPアドレスは画面右下に表示されます。



1. ブラウザを起動し、本製品のIPアドレス(初期値の場合:192.168.1.88)を入力します。



2. 初回ログイン時は、図1のようにユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。

【初期値】ユーザー名:admin / パスワード:admin



5.2 パスワード変更

1. 上部の[ユーザー管理]タブをクリックします。



2. ユーザー名とパスワードを任意のものに変更します。

※ ユーザー名とパスワードは、文字、数字、アンダースコア()、ドット(.)で構成される、半角8~15文字までを設定できます。大文字と小文字は区別されます。

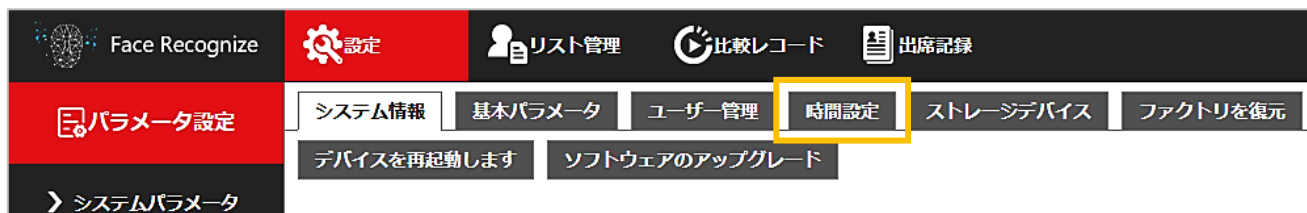
The screenshot shows a form for user management. It includes a dropdown for '認証方法' (Authentication Method) set to 'WEB', and another dropdown for 'ユーザーを選択' (Select User) set to '管理者' (Administrator). The 'ユーザー名' (Username) field contains 'admin', the 'パスワード' (Password) field is empty, and the 'パスワードの確認' (Confirm Password) field is empty. Below these fields are three buttons labeled '弱い' (Weak), '中' (Medium), and '高い' (High). At the bottom of the form is a '保存' (Save) button.

3. [保存]をクリックし、再度ログインします。

The screenshot shows a login form with two input fields: 'ユーザー名' (Username) containing 'admin' and 'パスワード' (Password) masked with dots. Below the fields is a red button labeled 'ログイン' (Login).

5.3 時刻設定

1. 上部の[時間設定]タブをクリックします。



2. 時刻の取得方法を選択し、[保存]をクリックします。

The screenshot shows the time settings configuration page. The date is set to 2020-10-19 and the time to 18:53:01. The time zone is set to (GMT + 09:00) ソウル, 東京, ヤクジケ. The time server is set to time.windows.com with a port of 123 and an interval of 60 minutes. The 'タイムサーバーによる更新' (Update from time server) option is selected. The 'タイムゾーン変換タイプ' (Time zone conversion type) is set to 1. The 'RTCスイッチ' (RTC switch) is set to '開く' (Open). A '保存' (Save) button is visible at the bottom.

※ [手動設定]を選択した場合は、上部の日付に日時を手動入力してから保存します。

5.4 ネットワーク設定

※初期値では、IPアドレス「192.168.1.88」に固定されています。

1. 画面左の[>ネットワーク設定]をクリックします。



2. 使用環境に合わせて、設定を行い、[保存]をクリックします。
 <DHCPスイッチ>にチェックを入れると、デバイスは自動的にIPアドレスを取得します。
 <DHCPスイッチ>のチェックを外すと、IPアドレス以下の情報の入力が必要です。
 ※ご使用の環境に合わせて、設定してください。

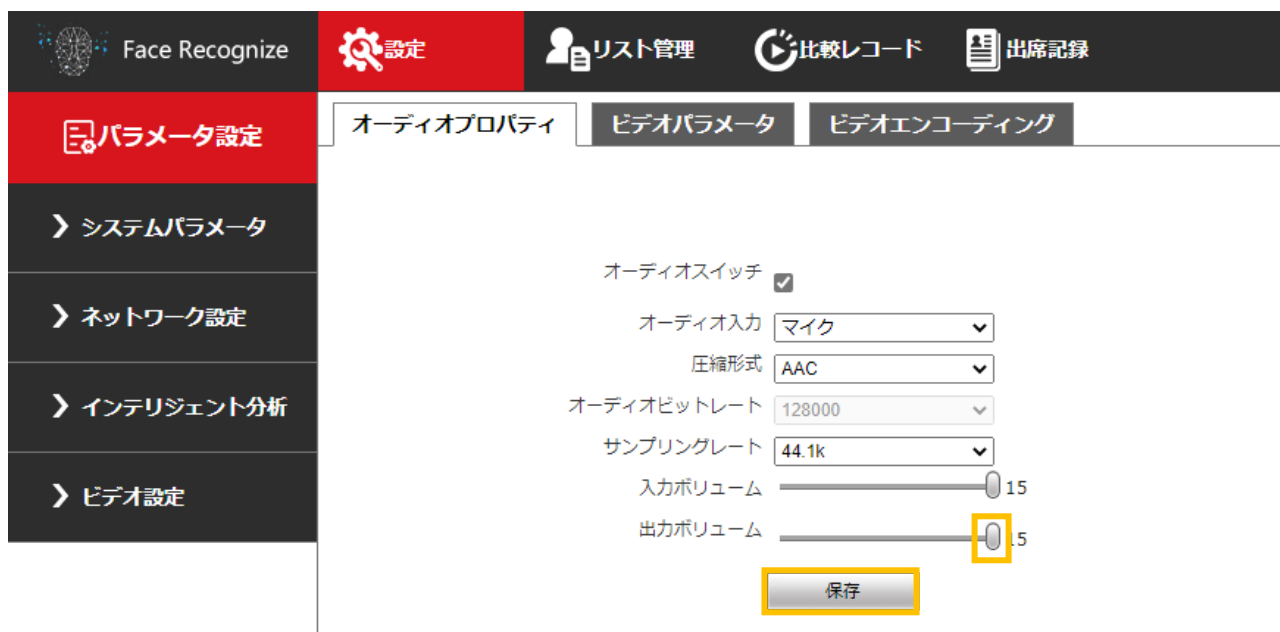


5.5 音声アナウンスのボリューム調整

1. 画面左の[>ビデオ設定]をクリックします。



2. 「出力ボリューム」を調整し、[保存]をクリックします。



6. 主な機能の設定方法

6.1 表面温度測定範囲を設定する

※初期値では、〈温度しきい値〉は「37.5℃」で有効に設定されています。

1. 画面左の[>インテリジェント分析]をクリックし、上部に表示された[顔認識アクセス制御]をクリックします。



2. 上部の〈温度とマスクの設定〉内の〈温度しきい値〉に、温度を入力します。入力した温度以上の表面温度を、高温として検知します。
3. 〈温度単位〉は[摂氏]を選択し、[保存]をクリックします。

温度とマスクの設定

マスク温度検出

温度測定モード

温度しきい値 (1-100)

温度単位

温度補正

補正温度

動的に生成されるとき範囲 -

■ 表面温度が「しきい値」より低い場合



■ 表面温度が「しきい値」以上の場合



6.2 マスク認識機能を有効にする

※初期値では有効に設定されています。

1. 画面左の[>インテリジェント分析]をクリックし、上部に表示された[顔認識アクセス制御]をクリックします。



2. 上部の<温度とマスクの設定>内の<マスク温度検出>で、[体温+マスク検出]を選択し、[保存]をクリックします。

温度とマスクの設定

マスク温度検出

温度測定モード

温度しきい値 (1-100)

温度単位

温度補正

補正温度

動的に生成されるとき範囲 -

■ マスクを着用している場合



■ マスクを着用していない場合



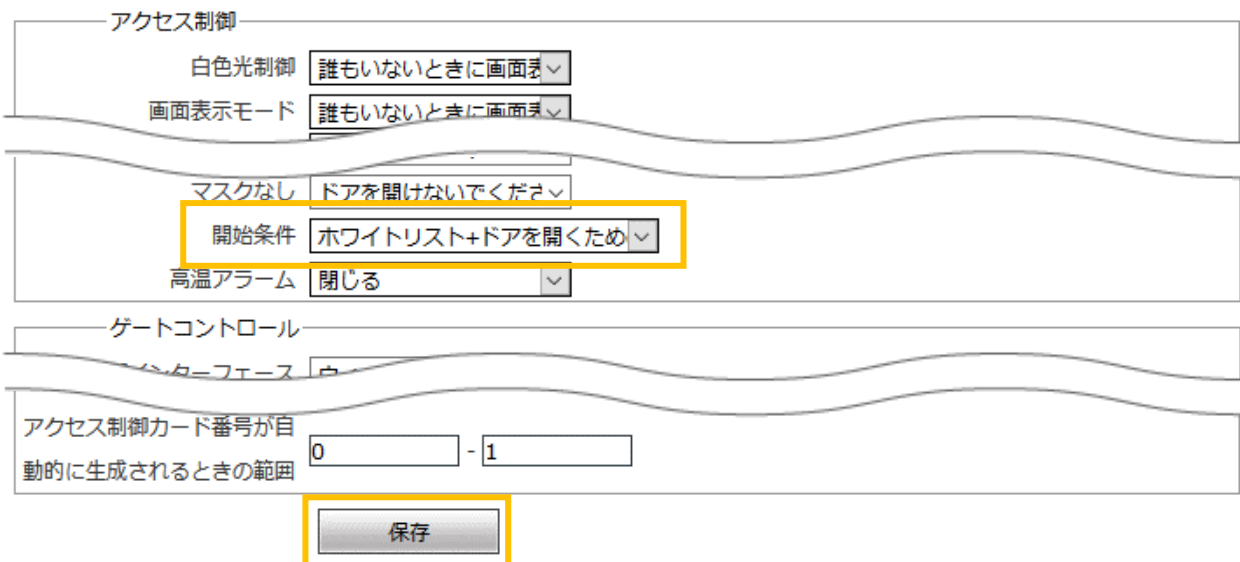
6.3 顔認識機能を有効にする

※初期値では無効に設定されています。

1. 画面左の[>インテリジェント分析]をクリックし、上部に表示された[顔認識アクセス制御]をクリックします。



2. 中央部の<アクセス制御>内の<開始条件>で、[ホワイトリスト+ドアを開くための顔認証]を選択し、[保存]をクリックします。



■ 顔データが登録されている場合



■ 顔データが登録されていない場合



6.4 測定記録を残さない設定にする

3. 画面左の[>インテリジェント分析]をクリックし、上部に表示された[顔認識アクセス制御]をクリックします。



4. 中央部の<アクセス制御>内の<比較レコードストレージ>で、[閉じる]を選択し、[保存]をクリックします。

アクセス制御

白色光制御

画面表示モード

UUID

日付形式

比較レコードストレージ

開始条件

温度異常設定

アラームサウンドスイッチ (体温異常)

※初期値「すべてのレコード」
 すべてのレコード:全測定記録を保存
 高温異常記録:高温者の時だけログを残す
 閉じる:測定記録を残さない

ゲートコントロール

制御インターフェース

アクセス制御カード番号が自動的に生成されるとき範囲 -

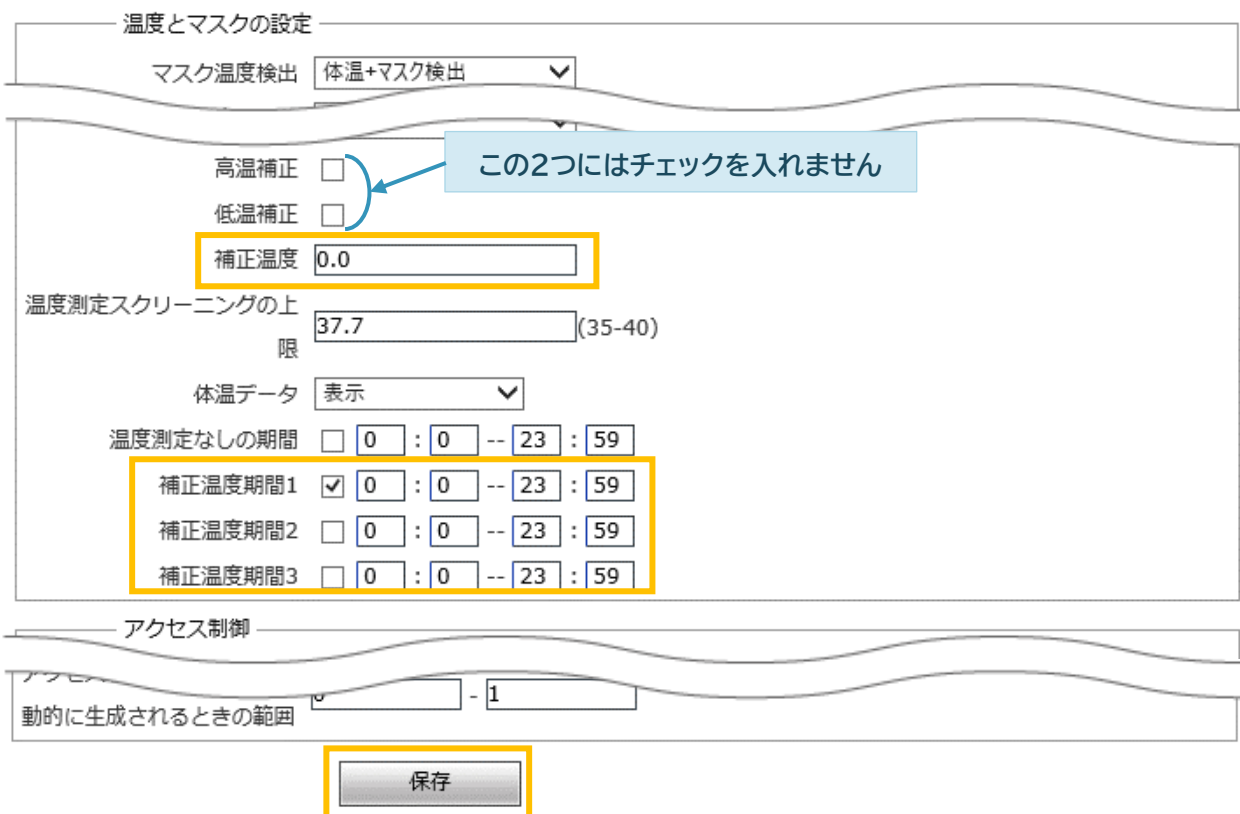
6.5 手動で温度を補正する

動作推奨温度(25~30℃)以外の環境で使用する場合、体表面温度の表示が外気の温度に影響され、正常な温度を表示できないことがあります。その場合は、〈温度補正〉を手動で行うことができます。

1. 画面左の[>インテリジェント分析]をクリックし、上部に表示された[顔認識アクセス制御]をクリックします。



2. 上部〈温度とマスクの設定〉内の〈補正温度〉に温度を入力します。
 外気温が低く、体表面温度が実際より低く表示される場合は0.1以上の値を、外気温が高く、温度が実際より高く表示される場合は-0.1以下の値を入力して調整します。
 (例:補正温度を1.0に設定すると、35.3℃と表示されていた温度が36.3℃と表示されるようになります。)
3. 補正する時間帯を〈補正温度期間〉で設定し、[保存]をクリックします。(期間は3つまで設定可能)



6.6 温度補正の詳細及び注意点

温度とマスクの設定

マスク温度検出

温度測定モード

温度しきい値 (1-100)

温度単位

温度補正

スマートタイム

高温補正

低温補正

補正温度

体温データ

温度測定なしの期間 : -- :

補正温度期間1 : -- :

補正温度期間2 : -- :

補正温度期間3 : -- :

〈高温補正〉初期値:無効

自動で高温が補正される機能です。

夏場等に高温(40℃等)が頻繁に表示される場合に、通常範囲の体温に補正します。

なお、本機能を設定した場合、実際に高熱の方も通常体温に補正するため、使用を想定しておりません。

〈低温補正〉初期値:有効

自動で低温が補正される機能です。周辺環境が低温の場合に使用します。

低温環境では、額の表面温度が極端に低く表示されることがあります(33℃や34℃等)。

そのような場合に、計測した体表面温度を脇下温度に補正して表示させる機能です。

〈補正温度〉初期値:無効

手動で温度を補正する機能です。実際に測定された温度に、設定した値を追加した温度を表示します。

例)「補正温度:+3.0℃」 → 実際の測定温度が33℃の場合、画面には36℃と表示されます。

※ 温度補正機能についての注意事項

〈低温補正〉と〈補正温度〉の同時使用はお控えください。これらを同時に設定すると動作が不安定になります。

6.7 温度を測定する間隔を変更する

測定する間隔を「1～10」の数値内で変更することができます。

測定間隔の数値を小さくすると短時間で複数回測定してしまうため、1人を測定する際に「正常です」のアナウンスが複数回されてしまうことがあります。間隔を長くしたい場合は数値を大きくすると測定する間隔が長くなります。

- 画面左の[>インテリジェント分析]をクリックし、上部に表示された[顔認識アクセス制御]をクリックします。
 (ファンフィルタリング)内の数値を設定し、[保存]をクリックします。
 測定間隔を短くしたい場合は1～4、長くしたい場合は6～10を入力します。(※初期値では5に設定されています。)

The screenshot shows the 'Face Recognize' settings interface. The left sidebar has 'インテリジェント分析' (Intelligent Analysis) highlighted. The main content area is titled '顔認識アクセス制御' (Face Recognition Access Control). The 'ファンフィルタリング' (Fan Filtering) input field is set to '5' and is highlighted with a yellow box. Below it, there is a '保存' (Save) button, also highlighted with a yellow box. Other settings include '白色光制御' (White Light Control), '画面表示モード' (Screen Display Mode), '顔検出の解像度' (Face Detection Resolution), 'リストの類似性' (List Similarity), 'IDの類似性' (ID Similarity), '時間' (Time), 'IP', 'UUID', '日付形式' (Date Format), '比較レコードストレージ' (Comparison Record Storage), '開始条件' (Start Condition), '温度異常設定' (Temperature Abnormality Setting), and 'アラームサウンドスイッチ' (Alarm Sound Switch).

7. 顔認証データ

7.1 ログの確認

1. 上部の[比較レコード]をクリックします。



2. 表示するデータの条件を入力し、[クエリ]をクリックします。

クエリ条件

2020 - 6 - 16 0:00 宛 2020 - 6 - 17 23:59 先

すべて

名前

番号

クエリ

3. ログ画面が表示されます。このページで過去の測定記録詳細を確認できます。

クエリ条件

2020 - 6 - 16 0:00 宛 2020 - 6 - 17 23:59 先

すべて

名前

番号

クエリ

アバター	名前	数値	リスト	温度	時間	IC	詳細
	佐藤	0001	ホワイトリスト	36.40	2020-06-17 11:54:54	0	類似性: 92%, アクセス数: 1, 初回訪問時間: 2020-06-17 11:54:56, マスク: はい, 体温: 通常
	-	-	見知らぬ人	36.60	2020-06-17 11:53:00	0	マスク: はい, 体温: 通常
	藤田	6372	ホワイトリスト	36.50	2020-06-17 11:52:57	0	類似性: 92%, アクセス数: 1, 初回訪問時間: 2020-06-17 11:54:56, マスク: はい, 体温: 通常
	-	-	見知らぬ人	36.67	2020-06-17 11:52:13	0	マスク: いいえ, 体温: 通常

前のページ 1 / 10 現在のページにジャンプ 次のページ

アバター	リスト管理に登録されている場合は登録した画像が、登録されていない場合は認識した際の画像が表示されます。
名前	リスト管理に登録されている場合は、登録した名前が表示されます。
数値	リスト管理に登録されている場合は、登録したID番号が表示されます。
リスト	リスト管理に登録されている場合は「ホワイトリスト」と表示されます。
温度	検知した表面温度を表示します。
時間	検知した時間を表示します。
詳細	マスク検知や温度状況を表示します。 リスト管理に登録されている場合は、類似性、アクセス数、初回訪問時間も表示されます。

7.2 顔認証データ登録 (ログから登録する)

1. 上部の[比較レコード]をクリックします。



2. 表示するデータの条件を入力し、[クエリ]をクリックします。

クエリ条件

2020 - 6 - 16 0:00 宛 2020 - 6 - 17 23:59
先

すべて ▼ 名前 番号

3. ログ画面が表示されます。登録したい人物のログをダブルクリックします。

クエリ条件

2020 - 6 - 16 0:00 宛 2020 - 6 - 17 23:59
先

すべて ▼ 名前 番号

アバター	名前	数値	リスト	時間	IC	詳細
	佐藤	0001	ホワイトリスト	36.40	2020-06-17 11:54:54	0 類似性: 92%, アクセス数: 1, 初回訪問時間: 2020-06-17 11:54:56, マスク: はい, 体温: 通常
	-	-	見知らぬ人	36.60	2020-06-17 11:53:00	0 マスク: はい, 体温: 通常

4. <リストタイプ>と<名前>、<ID>等を入力し、[保存]をクリックします。

リストタイプ
ホワイトリスト ▼

名前

ID

IDカード

電話番号

リストのエイジング
永久 ▼

※登録する際は、マスク未装着時の画像を使用してください。

※顔認証データは定期的にデータのエクスポートを行い、バックアップを行ってください。

[データのエクスポート方法は『THERMALTAB-sVMS-取扱説明書』のp.31をご覧ください。](#)

7.3 顔認証データ登録（画像をインポートして登録する）

1. 上部の[リスト管理]をクリックします。



2. リスト管理画面が表示されます。画面右にある[リストに追加]をクリックします。

※リスト管理が右に表示されない場合は、画面表示サイズを縮小して調整してください。

ID	IC	タイプ	名前	アクセスコントロールカード番号	性別	登録アバター	登録時間	リストのエージング	有効期間	生年月日	証明書タイプ
001	0	ホワイトリスト	佐藤	001	女性		2020-10-23 18:03:19	パーマネントリスト			ID
002	0	ホワイトリスト	藤田	002	男性		2020-10-23 18:04:27	パーマネントリスト			ID
003	0	ホワイトリスト	川村	003	男性		2020-10-23 18:05:02	パーマネントリスト			ID

リスト管理

すべて削除

検索メソッド
あいまい名検索 ▼

名前

検索

リストを追加

※ダブルクリックリスト変更・削除操作!

3. [参照]をクリックし、登録したい人物の画像を選択します。

4. <アクセスコントロールカードの番号>と<タイプ>、<名前>を入力し、[保存]をクリックします。

リストを追加 ×

参照... ファイルが選択されていません。

*解像度 ≤ 960 * 960、画像サイズ ≤ 2M!

アクセスコントロールカード番号の生成方法
アクセスコントロールカード番号

タイプ ホワイトリスト▼

名前

性別 男性▼

国家

証明書タイプ IDカード▼

ID番号

生年月日

電話番号

出身地

アドレス

IC

注

リストのエージング 永久▼

7.4 顔認証データの確認・編集・削除

1. 上部の[リスト管理]をクリックします。



2. リスト管理画面が表示されます。

3. 編集または削除したいリストをダブルクリックし、操作を選択します。

ID	IC	タイプ	名前	アクセスコントロールカード番号	性別	登録アバター	登録時間	リストのエージング	有効時間	生年月日	証明書タイプ
001	0	ホワイトリスト	佐藤	001	女性		2020-10-23 18:03:19	パーマネントリスト			ID
002	0	ホワイトリスト	藤田	002	男性		2020-10-23 18:04:27	パーマネントリスト			ID
003	0	ホワイトリスト	川村	003	男性		2020-10-23 18:05:02	パーマネントリスト			ID

リスト管理

すべて削除

検索メソッド
あいまい名検索

名前

検索

リストを追加

→ダブルクリックリスト変更・削除操作!

操作メニュー

リストの変更 リストを削除

8. Windowsパソコンソフト『THERMALTAB-sVMS-』について

8.1 THERMALTAB-sVMS-について

本製品の特設ページ(<https://www.solidcamera.net/thermaltab/tmt-v001.html>)より、Windowsパソコン用ソフトウェア『THERMALTAB-sVMS-』がインストールできます。

THERMALTAB-sVMS-では、以下の管理が可能です。

■ 複数デバイスの追加

ローカルネットワーク内のデバイスだけでなく、遠隔地にあるデバイスも追加し、一括管理が可能です。ローカルネットワーク内のデバイスでは、音声アラームや画像表示ができます。また、遠隔地にあるデバイスは、ライブ映像の視聴が可能です。

■ 顔認識ログの閲覧

ローカルネットワーク内のデバイスだけでなく、遠隔地にあるデバイスの検知したログを閲覧できます。画像、表面温度、マスクの有無等も併せて確認可能です。

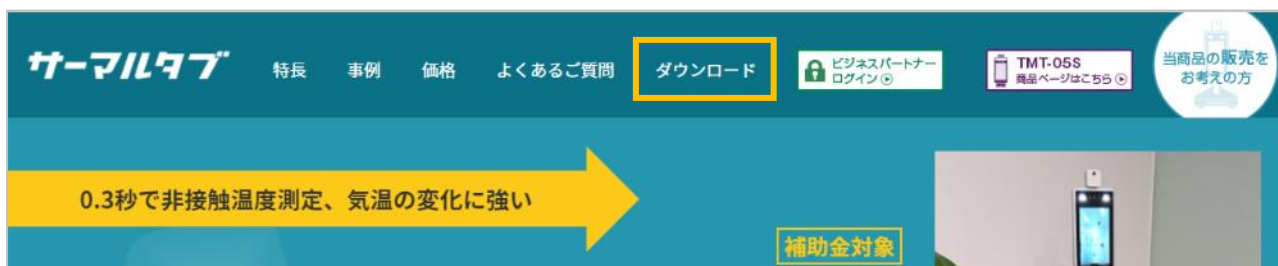
■ 顔認識データリストの管理

ローカルネットワーク内のデバイスだけでなく、遠隔地にあるデバイスのリストも管理ができます。同じデータリストを、複数のデバイスにインポートすることも可能です。

設定方法は、別紙の『THERMALTAB-sVMS-クイックガイド』をご覧ください。

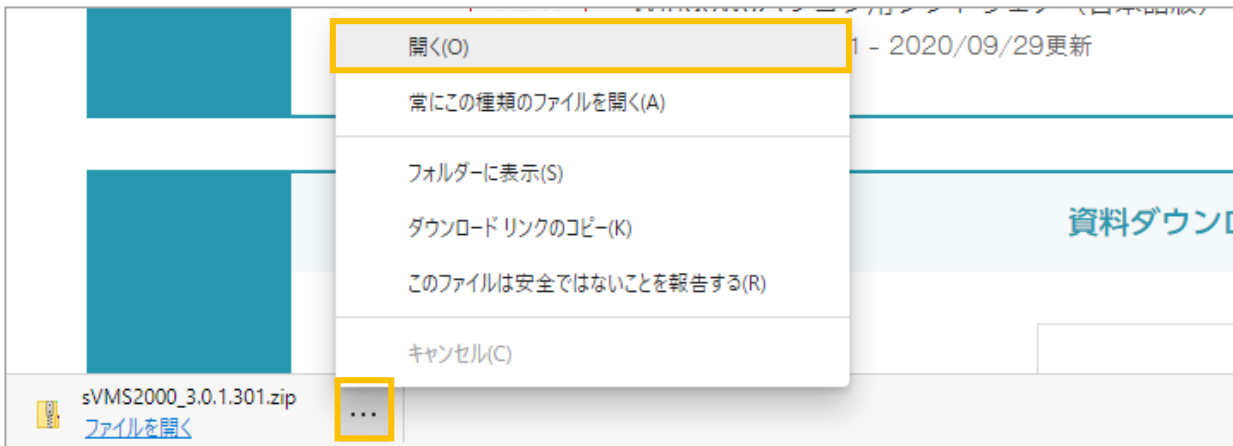
8.2 THERMALTAB-sVMS-のインストール方法

- ソリッドカメラのTMT-03S特設ページ(<https://www.solidcamera.net/thermaltab/tmt-v001.html>)内の[ダウンロード]より、[Windowsパソコン用ソフトウェア]をダウンロードします。

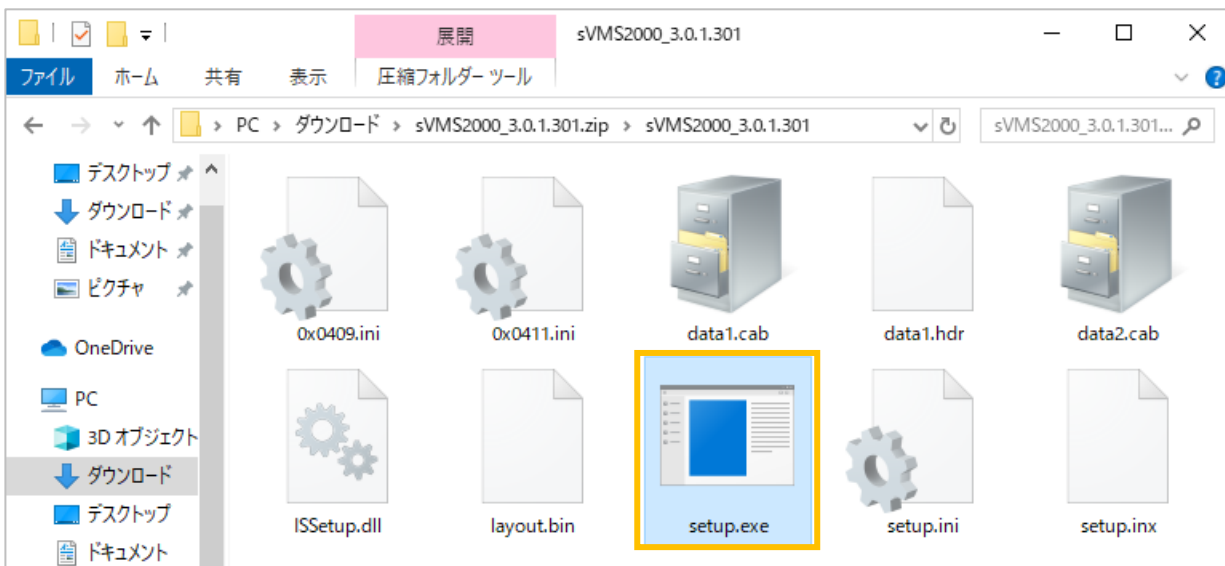


ソフトウェア			
名前	バージョン	更新日	備考
Windows用ソフトウェア THERMALTAB-sVMS- (日本語版)	3.0.1.303	2020/11/19	

4. ダウンロードされたZIPファイルを開きます。

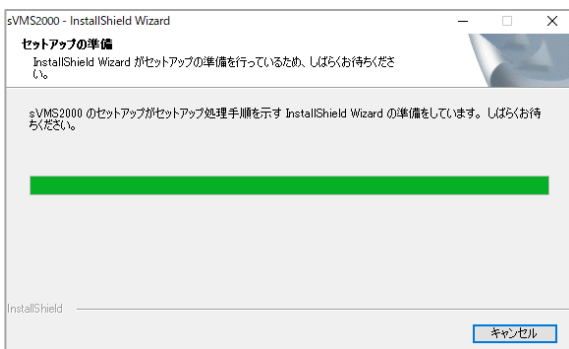


5. 開いたフォルダー内にある[setup.exe]をダブルクリックします。

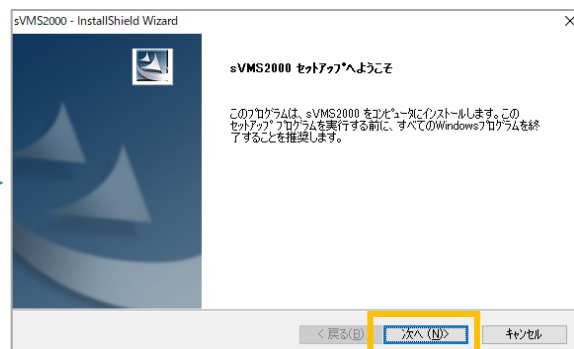


6. 「セットアップの準備」ウィンドウが開き、準備完了後に「セットアップ開始画面」が開きます。
[次へ]をクリックします。

【セットアップの準備】

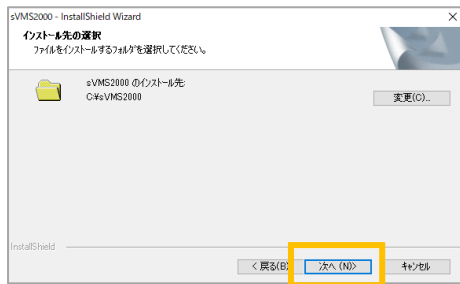


【セットアップ開始画面】

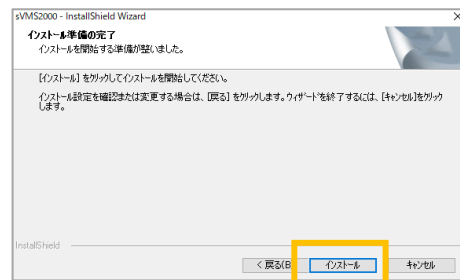


7. [次へ >]→[インストール]と進み、「インストール完了」画面が表示されたら[完了]をクリックします。

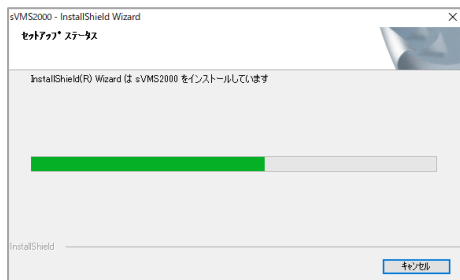
【インストール先の選択】



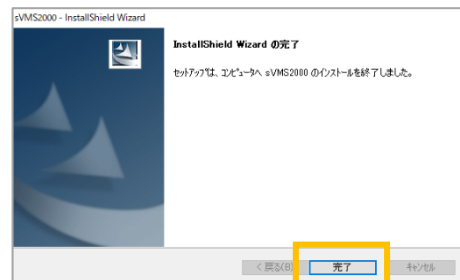
【インストール準備の完了】



【セットアップステータス】



【インストール完了】



8. デスクトップに[sVMS2000]のアイコンが生成され、ログイン画面が自動的に起動します。

【アイコン】



このアイコンをダブルクリックすると
THERMALTAB-sVMS-が起動し
ます。

【ログイン画面】



9.仕様

本体	
原産国	中国
センサー生産国	日本
ハードウェア	
システム	7インチタブレット Linux オペレーティングシステム
イメージセンサー	1/2.7 インチ CMOS
レンズ	4.5mm
体表面温度検知(日本製センサー採用)	
測定範囲	30~45℃
精度	±0.3℃
推奨測定距離	30~80cm
最速測定スピード	0.3 秒以内
顔認証	
認証範囲	1.2~2.2m(アングル調整可)
距離	0.5~2m
記録スピード	0.5 秒以内
ネットワーク	
ネットワーク接続	P2P、TCP/IP、DDNS、DHCP、RTSP、HTTP
通信方法	IE ブラウザ、P2P アプリ
インターフェース	
ネットワーク	RJ45 10M/100M イーサネット
Wiegand ポート	出力/入力:26, 34 ビット
アラーム出力	1 チャンネルリレー出力
USB ポート	1ポート
ログ	
保存可能件数	10 万件
顔登録可能件数	22,400 件
保存・出力	本体保存(Excel 形式で出力可能)
カメラ仕様	
解像度	2メガピクセル, 1920×1080
最低照度	カラー: 0.01Lux @F1.2(ICR) / 白黒: 0.001Lux @F1.2
画角	水平:60° 垂直: 40°
寸法	
本体サイズ	123.5(W) × 84(H) × 361.3 (L) mm
本体重量	2.1kg
スタンド重量	S(卓上用):2.7kg L(床置き用/1.1m):4.3kg
取付ポール開口	33mm
その他	
電源入力	DC 12V/3A
最大消費電力	20W
マイク	内蔵
専用 PC ソフト	THERMALTAB-sVMS-
アラーム通知(PC)	対応
複数端末一括管理	可能(遠隔端末含む)
録画	NVR
動作可能環境	温度:10~40℃ 湿度:5~90%
動作推奨温度	25~30℃

10. 不具合発生時等のお問い合わせについて



不具合が発生した場合

サーマルタブに以下のような動作異常が発生した場合は、一度電源を切って30秒後に再起動してください。

- タブレット画面に映像が表示されない場合
- 音声アラームが鳴らない場合
- 明らかに異常な測温結果が続く場合

本体の再起動を試しても症状が改善されない場合は、お手数ですが以下のサポートダイヤルまでお問い合わせくださいますよう、お願いいたします。



0120-223-323 (音声ガイダンス①をご選択ください。)

その他、製品に関するご質問やお見積りの依頼に関するお問い合わせは、メールまたはお問い合わせフォームにて、お問い合わせください。



メールでのお問い合わせ

info@solidcamera.net



フォームでのお問い合わせ

<https://form.solidcamera.net/inquiry>





アクセスコントロール付タブレット型サーマルカメラ
サーマルタブ TMT-03S クイックガイド

2024年4月3日 第33版発行